ソルボンヌ大学での研究滞在報告

令和 8 年度 若手研究者国際短期派遣事業

松岡 優音
京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻 博士課程 3 年
錯体触媒変換化学研究領域

派遣先：フランス・ソルボンヌ大学 Marc Robert 研究室
渡航・滞在期間：令和 8 年 8 月 26 日～10 月 31 日（67 日間）

令和 8 年度若手研究者国際短期派遣事業の支援を受け、フランス・ソルボンヌ大学の Marc Robert 研究室で約 2 か月間、研究を行いました。金属–硫黄クラスターを用いた二酸化炭素の電気化学的還元に取り組み、これまでほとんど経験のなかった電気化学の実験や解析を学びました。現地の研究者と英語で結果を議論する機会にも恵まれました。所属研究室以外でまとまった期間研究するのは初めてでしたが、新しい分野への挑戦に加え、人との交流にも恵まれた滞在となりました。今回得た技術や経験を、今後の研究にも活かしていきたいと思います。

研究以外で印象に残ったのは、コーヒーを囲んだ交流です。研究室には豆を挽いて抽出できるコーヒーメーカーがあり、明るくフレンドリーなメンバーがよくコーヒーブレイクに誘ってくれました。研究の合間に会話を楽しむ時間を通じて、研究室の人々と親しくなることができ、フランスのコーヒー文化にも触れられました。(グループ名の略称もコーヒーにちなんで eMOCA でした。)

また、滞在中にはロンドンやミュンヘンにも足を延ばし、かつて大木研究室に所属し、現在は国外で研究している学生や留学生と再会することもできました。

最後に、本派遣を支援してくださった京都大学化学研究所の関係者の皆様、Marc Robert 教授と研究室の皆様に、心より感謝申し上げます。



Marc とのツーショット



Glovebox team



大木研リユニオン